

令和 7 年度のとじま水族館能登半島地震災害復旧工事  
（上水道設備）

【図面リスト】

図 番	図 面 名 称	縮 尺
M-01	工事仕様書（機械設備） 1 / 3	NO SCALE
M-02	工事仕様書（機械設備） 2 / 3	NO SCALE
M-03	工事仕様書（機械設備） 3 / 3	NO SCALE
M-04	改修前・改修後給水管布設図	S=1/2000 (A1) S=1/4000 (A3)
M-05	敷地内給水設備図	S=1/600 (A1) S=1/1200 (A3)
M-06	受水槽回り配置図	S=1/250 (A1) S=1/500 (A3)
M-07	受水槽詳細図	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)

分類	木下設備設計事務所 一級建築士事務所 石川県知事登録 第13199号 一級建築士登録 第297567号 森 亜希子	年 月 日 2025. 3. 31	縮 尺 NO SCALE	検 図	設 計	製 図	工 事 名 称 令和 7 年度のとじま水族館 能登半島地震災害復旧工事（上水道設備）	図 面 名 称 図面リスト	図番 M-00
				木下	森	森			

工 事 仕 様 書 ( 機 械 設 備 )

## I. 工事概要

1. 工 事 名 称    令和7年度のとしま水族館能登半島地震災害復旧工事（上水道設備）
2. 工 事 場 所    七尾市能登島曲町地内
3. 完 成 期 日    令和　7　年　12　月　19　日（余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。）  
指定部分    ○ 無　・ 有（指定期日：令和　　年　　月　　日）    対象部分（　　　　　　　　　　　）  
概成工期    ○ 無　・ 有（令和　　年　　月　　日）    (1.2.1.6)
4. 建 物 概 要

建築物名稱	構造	階數	延面積 (㎡)	消防令別表第一	備考
水族館		階建(地階 階.塔屋 階)	㎡		
		階建(地階 階.塔屋 階)			

5. 別契約の関連工事
- |           |            |             |            |            |
|-----------|------------|-------------|------------|------------|
| ・ 建築工事    | ・ 電気設備工事   | ・ 給排水衛生設備工事 | ・ 空気調和設備工事 | ・ 構内交換設備工事 |
| ・ 昇降機設備工事 | ・ 自家発電設備工事 | ・ 厨房機器設備工事  | ・ 屋外付帯工事   | ・ 植栽工事     |
| ・         | ・          | ・           | ・          | ・          |
6. 工 事 内 容
- ＊地震により破損された水族館施設（給水引込配管及び受水槽）を復旧する。
- ＊工事中予想外の破損部分が発見された場合は係員と協議の上速やかに工事進行を行う様努力する。
- ＊事前に現在の配管ルートを調査し協議の上工事を進めること
- ＊旧配管は残置とするが今回工事に支障がある部分は撤去すること

## II. 工事仕様

1. 一 般 仕 様
- 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- 2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。
2. 特 記 仕 様
- 章は●印の付いたものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 事 項	1 工事実績情報	請負金額 5, 0 0 0 千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。(1.1.4)
	2 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。(1.1.5(3))
	3 他工事との 取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表－1 によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合わせる。(1.1.7)
	4 工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月 1 5 日及び月末ごとに提出する。(1.2.4)
	5 施工条件	・ 新築工事 ○ 改修工事 (○ 執務並行改修 ・ 全館無人改修) (1.3.3) ・ 工事用車両の駐車場所等は図示に依る。(改1.3.3) ・ ・
	6 発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの ( ・ ) (1.3.9(2)) ・ 特別管理産業廃棄物 ( ・ 廃石綿 (エルボ保温、パッキン) ・ ) ・ 現場で再利用を図るもの ( ・ ) ・ 再資源化を図るもの ( ・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材 )
	7 再使用機材	・ 取外し後再使用するものは図示による。(改1.4.3)

[illegible]

●

通

事

項

章	項 目	特 記 事 項																		
●	2 配管等	1) 仕切弁はJIS又はJV（ ・ 5K      ◎ 10K（水道直結等の図示部分） ）とする。 (2.2.1) 2) 絶縁継手の取付け箇所は、図示による。 (2.2.12) 3) 建物導入部の変位吸収方法は次による。ただし、排水及び通気配管を除く。 (2.4.1(3)) 標準図（ ・ (a)フレキシブルジョイント   ・ (b)           ・ (c)           ）による。(2.5.7(1)) 4) 呼び径60Su以下のステンレス鋼管は、（ ・ プレス ・ 拡張 ・           ）接合とする。 5) ポリエチレン管の接合方法は、（ ・ 電気融着 ・ メカニカル）とする。 (2.5.10(2)) 6) 溶接部の非破壊検査を   ・ 行う           ・ 行わない (2.5.15.12(9)) 7) 地中埋設標の設置箇所は、図示による。 (2.7.1(8)) 8) 埋設表示用テープ（倍折）を土被り150mm程度の深さに埋設する。 (2.7.1(9)) 9) 埋設深さは、図示が無い場合、車両道路（ ・ 60cm           ）、 (2.7.2) その他(◎ 30cm           )以上とする。 3 防凍保温 屋外露出部(給水管、消火管、膨張管、冷温水管、弁類を含む)は 防凍保温を行い、保温材の厚さは配管の呼び径25mm以下のものは50mm以上、それ以外は40mm以上とする。 (3.1.6) 4 塗装 下記の垂始めつきを施した露出ダクト及び露出配管は、塗装を行わない。 (3.2.1.1) ・ 機械室（エレベーター機械室）   ・ 電気室（自家発電室）   ・ 倉庫     ◎シャワー室 5 吊り及び支持金物の防錆 多湿トレンチ内等の吊り金物、支持金物類は溶融亜鉛めっき処理又はステンレス鋼製とする。 (3.2.2.1) 6 監督員事務所等 1) 監督員事務所を ※ 設けない   ・ 設ける〔 ・ 1号（10㎡程度）   ・ 2号（20㎡程度）〕 2) 監督員事務所に設ける備品等 (4.1.1(4)) ・ 保護帽     ・ 墜落制止用器具     ・ 長靴     ・ 合羽     ・ 机           ・ 椅子 ・ 懐中電灯   ・ 書棚           ・ 黒板      ・ 寒暖計      ・           ・ 3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1 部、A3縮小 2 部）し、監督員事務所等に置く。 ・ 快適トイレを設置する           ・ 快適トイレを設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。 7 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく） 8 工事現場の表示板 工事現場には、下記表示板を設置する。 （記入例） (4.1.1(9)) 上段の地色は白色 文字は青色 下段の地色は青色 文字は白色 <div><table><tr><th colspan="2">工 事 名</th></tr><tr><td>工 期</td><td>自 年 月 日 ～ 至 年 月 日</td></tr><tr><td>発注者</td><td>一般財団法人 石川県健康民ふれあい公社</td></tr><tr><td>設 計</td><td>（建築・設備委託業者名を記入）</td></tr><tr><td>監 理</td><td>（建築・設備委託業者名を記入）</td></tr><tr><td>施 工</td><td>建 築 （施工業者名を記入）</td></tr><tr><td></td><td>電 気 （施工業者名を記入）</td></tr><tr><td></td><td>機 械 （施工業者名を記入）</td></tr><tr><td colspan="2">この工事は、週休2日に取り組んでいます</td></tr></table></div> <div>60cm ～75cm</div> <div>90cm</div> 設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。 9 埋め戻し土 ※ 根切り土の中の良質土（ただし、管の周囲は山砂）   ・ 山砂 (4.2.1(4)) 10 建設発生土の処理 ・ 現場内で処理 (4.2.1(4)) ・ 構内指示の場所に堆積   ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 場外搬出適正処理 （「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。） ※ 指定（想定）搬出先           受入場所： 受入時間帯：   時   分～   時   分 仮置き等： 11 はつり 1) 放射線透過検査を   ・ 行う     ※ 行わない（但し、鉄筋探査は行う。） (改4.1.2) 2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。 (改4.1.3) 3) 既設基礎の解体、撤去後の床補修は、図示による。 (改4.1.5) 12 あと施工アンカー 1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。 (改5.2.1) 2) 施工後確認試験（引張試験）を   ・ 行う（   箇所）   ・ 行わない (改5.2.3) 13 県内産材料 石川県建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産するように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。 14 材料検査 請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・ 熱源機器     ・ 空調機器     ・ ポンプ類     ・ ダクト及び付属品     ・ 衛生器具 ・ タンク類      ・ 消火機器      ・ 合併処理槽      ・ 厨房機器           ・ ・ 15 工事写真等の記録 1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和3年改定）」による。	工 事 名		工 期	自 年 月 日 ～ 至 年 月 日	発注者	一般財団法人 石川県健康民ふれあい公社	設 計	（建築・設備委託業者名を記入）	監 理	（建築・設備委託業者名を記入）	施 工	建 築 （施工業者名を記入）		電 気 （施工業者名を記入）		機 械 （施工業者名を記入）	この工事は、週休2日に取り組んでいます	
	工 事 名																			
	工 期	自 年 月 日 ～ 至 年 月 日																		
	発注者	一般財団法人 石川県健康民ふれあい公社																		
	設 計	（建築・設備委託業者名を記入）																		
	監 理	（建築・設備委託業者名を記入）																		
	施 工	建 築 （施工業者名を記入）																		
	電 気 （施工業者名を記入）																			
	機 械 （施工業者名を記入）																			
この工事は、週休2日に取り組んでいます																				

工事名	令和7年度のとじま水族館 能登半島地震災害復旧工事（上水道設備）	番号 M-01
	図面名 工事仕様書（機械設備）	縮尺 _____
設 計	石川県県民ふれあい公社	

最終改訂 R5. 4. 1

章	項	目	特記事項																																				
●	共	通	2) 請負契約約款第 1 4 条第 3 項に定める工事写真は次のとおり。 ○ 地中埋設配管部 ・ 機器の基礎及びアンカーボルト埋設部 ・ 塗装工程 ○ 保温工程 ・ 天井、トレンチ内の隠ぺい箇所 ・ 躯体スリーブ 3) 区分による規格、枚数、部数は次による。 <table><tr><th>区 分</th><th>大 き さ (mm)</th><th>撮 影 枚 数</th><th>部 数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>着工前</td><td>100×148程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>工事期間中は現場事務所に整理保管し、</td></tr><tr><td>工事中</td><td>85×115程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>工事完成時に提出する。</td></tr><tr><td>完成時</td><td>100×148程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>A 4 用紙に整理したもの</td></tr></table> 4) 完成写真の撮影は、次による。 ・ 建築写真撮影業者 ※ 建築写真撮影業者以外 5) 写真は A 4 用紙に順序よく貼付又は印刷し、説明事項を記入して提出する。 6) 中間検査又は監督員の指示により、手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添付し提出する。 請負契約約款第 3 7 条第 1 項に定める部分払の対象とする工事材料は次のとおり。 ・ 機器 ・ 器具 ・ 配管 ・ 請負契約約款第 4 9 条に定める火災保険等は次のとおり。（加入期間は着工日より引渡日まで） ※ 組立保険 ・ 建設工事保険 次に示す事項を除き、すべて独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 2 0 1 4 年版」による。(3-2. 1. 1(5)) 1) 機器の設計用標準水平震度及び耐震クラスは図示による。図示がなければ次による。 <table><tr><th rowspan="3">設置場所</th><th colspan="2">耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）</th></tr><tr><th>特定の施設</th><th>一般の施設</th></tr><tr><th>・ 耐震クラス S</th><th>○ 耐震クラス A</th></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2. 0</td><td>1. 5 &lt; 2. 0 &gt;</td></tr><tr><td>中間階</td><td>1. 5</td><td>1. 0 &lt; 1. 5 &gt;</td></tr><tr><td>一階及び地下階</td><td>1. 0 ( 1. 5 )</td><td>1. 0</td></tr></table> 注1 設置場所の区分は、機器等を支持する床部分により適用し、天井面（上階床）より支持する機器等は直上階を適用する。 注2 上層階は、2 ～ 6 階建の場合は最上階、7 ～ 9 階建の場合は上層 2 階、10 ～ 12 階建の場合は上層 3 階、13 階建以上の場合は上層 4 階とする。 注3 ( ) 内の値は水槽類（受水槽、高置水槽、消火関係水槽、オイルタンク等）、< > 内の値は防振支持の機器（防振材・防振装置を介して設置される機器）に適用する。 2) 地域係数は 1. 0 とする。 3) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の 1 / 2 とし水平地震力と同時に働くものとする。 4) 1 k N 以下の軽微な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し据付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。 19 名札の義務 請負金額 1 0 , 0 0 0 千円以上の元請工事の現場代理人及び主任（監理）技術者は顔写真付き名札を常時着用する。下記の寸法等は、参考であり、社員証等に替えることができる。 	区 分	大 き さ (mm)	撮 影 枚 数	部 数	備 考	着工前	100×148程度	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、	工事中	85×115程度	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。	完成時	100×148程度	監督員の指示による	1 部	A 4 用紙に整理したもの	設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）		特定の施設	一般の施設	・ 耐震クラス S	○ 耐震クラス A	上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5 < 2. 0 >	中間階	1. 5	1. 0 < 1. 5 >	一階及び地下階	1. 0 ( 1. 5 )	1. 0
			区 分	大 き さ (mm)	撮 影 枚 数	部 数	備 考																																
			着工前	100×148程度	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、																																
			工事中	85×115程度	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。																																
			完成時	100×148程度	監督員の指示による	1 部	A 4 用紙に整理したもの																																
			設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）																																			
				特定の施設	一般の施設																																		
				・ 耐震クラス S	○ 耐震クラス A																																		
			上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5 < 2. 0 >																																		
			中間階	1. 5	1. 0 < 1. 5 >																																		
一階及び地下階	1. 0 ( 1. 5 )	1. 0																																					
事	項	20 退職金共济制度	受注者は建設業退職金共济制度に加入し、本工事の掛金収納書を工事請負契約締結後 1 ヶ月以内に監督員を通じて発注者に提出する。また、現場事務所に適用標識（シール）を掲示する。																																				
		21 過積載等の防止	1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 2) さし柵装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長しないようにする。 4) 取引関係のあるダンプカー事業車が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずる。 5) 建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び資材納入業者の利益を不当に害することのないようにする。 6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和 4 2 年 8 月 2 日法律第 1 3 1 号。以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 1 2 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進する。 7) 1) から 6) につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導する。 22 景観への配慮 本工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく下記の事業であり、景観に配慮した施工に努める。 ・ 重点事業 ・ 一般事業 23 総合評価方式における技術提案 「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく、「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。履行にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議する。 24 電子納品 ※ 行う（「電子納品仕様書」による。） ・ 行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 <table><tr><th>名 称</th></tr><tr><td>営繕工事電子納品要領（令和 3 年改定）</td></tr><tr><td>官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和 4 年改定）</td></tr></table> 基準・要領類のダウンロード <a href="http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.htm">http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.htm</a>	名 称	営繕工事電子納品要領（令和 3 年改定）	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和 4 年改定）																																	
		名 称																																					
		営繕工事電子納品要領（令和 3 年改定）																																					
		官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和 4 年改定）																																					

章	項	目	特記事項
●	共	通	2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別に C D － R、D V D － R 又は B D － R で 1 部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。 工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 ① 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をする。 ② 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力する。 ③ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行う。 ④ 下請負に付する場合には、当該下請工事受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）が前各号と同様の義務を負う旨を定める。 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む）
			25 公共事業労務費調査の協力
			26 事故の補償
			1 煙道
			2 冷媒
			3 ダクト
			4 チャンパー
			5 風量測定口
			6 基礎
			7 配管材料
○	空	気	1) 低圧ダクト ・ アングルフランジ工法 ・ スパイラルダクト ( 1. 14. 3. 1 ～ 2 ) ・ コーナーボルト工法 ( ・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ) 2) 高圧ダクトの適用範囲は図示による。 3) 厨房用長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書の 1 ランク厚いものを使用する。( 1. 14. 3. 5 ) 消音内貼りを施すチャンパーは、図示による。( 1. 14. 6. ( 1 ) )
			8 伸縮管継手
			9 瞬間流量計
			10 保温
			11 冷媒 ( フロン類 ) の回収
			1 2 1 系統構成
			2 電源装置
			3 電気計装用配線
			1 2 1 水栓
			2 量水器
●	給排水衛生設備	給排水衛生設備	1) ○ 親メーター ( ・ 貸与品 ・ 買取 ) ・ 子メーター ( ・ 買取 ・ ) ( 2- 2. 2. 16 ) 2) 量水器樹 ・ 水道事業者指定品 ( ・ 貸与品 ・ 買取 ) ・ 標準図 M C 形 ( 1. 8. 4 ) 水中ポンプ 水中ケーブルの長さは、図示による。( 1. 2. 7 )
			4 タンクの保温
			1 2 1 水栓
			2 量水器
			3 汚水用
			4 タンクの保温
			1 2 1 水栓
			2 量水器
			3 汚水用
			4 タンクの保温

章	項	目	特記事項
●	給排水衛生設備	5 緊急遮断弁装置	受水槽、高架水槽に設ける緊急遮断弁装置は、図示による。( 2- 2. 2. 22 )
		6 配管材料	1) 給水管 一般 ・ ポリ粉体ライニング鋼管 ( PB ) ・ ステンレス鋼鋼管 ( 2- 2. 1. 2. 5 ) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 ( H1VP ) ・ 水道用ポリエチレン管 地中 ・ ポリ粉体ライニング鋼管 ( PD ) ・ ステンレス鋼鋼管 ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 ( H1VP ) ・ 水道用ポリエチレン管 引込管（直結部分）は水道事業者指定のものとし、図示による。加入負担金は別途 2) 給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラーなどへの補給水管を含む。） ・ 銅管（壁又は床埋設は、被覆鋼管又は保温付被覆鋼管としてもよい。） ・ ステンレス鋼鋼管 ・ 耐熱塩ビライニング鋼管 ( HVB ) シャワー室 3) 消火管 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管 ( 白 ) 地中 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 ( VS ) 4) 排水管 屋内 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ( VP ) ・ 耐火二層管 ( VP ) ( 2- 2. 1. 2. 6 ) ・ リサイクル発泡三層管 ( RF- VP ) ・ 耐火二層管 ( RF- VP ) 屋外 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ( VP ) 圧送 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ( VP ) ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 5) 通気管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ( VP ) ・ 耐火二層管 ( VP ) ・ リサイクル発泡三層管 ( RF- VP ) ・ 耐火二層管 ( RF- VP )
		7 洗面器等の排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより 1 サイズアップとする。( 2- 2. 4. 8 )
		8 満水試験継手	取付け位置は、図示による。( 2- 2. 9. 4 )
	ガス設備	1 配管材料	1) 屋内 ・ 配管用炭素鋼鋼管 ( 白 ) ( 2. 1. 1 ) ( 3. 1. 1 ) 2) 地中 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ( PLS ( PE1H ) ) ・ ガス用ポリエチレン管 3) 屋外露出、暗渠 ・ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 ( PLV ) ・ 配管用炭素鋼鋼管 ( 白 )
		2 メーター	・ 親メーター ( ・ 貸与品 ・ ) ・ 子メーター ( ・ 買取 ・ ) ( 2. 1. 7 ) ( 3. 1. 3. 4 )
		3 ガス漏れ警報器	・ 本工事 ( 図示による ) ・ 別途工事 ( 2. 1. 3 ) ( 3. 1. 3. 6 )
		4 その他	ガス遮断装置、漏洩検知装置、電気防食措置、ポンベの転倒防止措置は、図示による。
		1 配管材料等	1) マンホールふた ・ ボルトロック式 ・ メーカー標準ロック式 ( 2. 1. 27 ) 2) 管材や弁類は、図示による。( 2. 1. 30 )
		2 山留め	山留め壁 ・ 要 ( 図示による。 ) ・ 不要 ( 2. 2. 1 ( 9 ) )
		3 維持管理	工事引渡後 6 ヶ月間は受注者が維持管理を行い、7 条検査を受検し、その報告を行う。( 2. 2. 2 )
		1 配管材料等	1) マンホールふた ・ ボルトロック式 ・ メーカー標準ロック式 ( 2. 1. 27 ) 2) 管材や弁類は、図示による。( 2. 1. 30 )
		2 山留め	山留め壁 ・ 要 ( 図示による。 ) ・ 不要 ( 2. 2. 1 ( 9 ) )
		3 維持管理	工事引渡後 6 ヶ月間は受注者が維持管理を行い、7 条検査を受検し、その報告を行う。( 2. 2. 2 )
○	浄化槽設備	1 配管材料等	1) マンホールふた ・ ボルトロック式 ・ メーカー標準ロック式 ( 2. 1. 27 ) 2) 管材や弁類は、図示による。( 2. 1. 30 )
		2 山留め	山留め壁 ・ 要 ( 図示による。 ) ・ 不要 ( 2. 2. 1 ( 9 ) )
		3 維持管理	工事引渡後 6 ヶ月間は受注者が維持管理を行い、7 条検査を受検し、その報告を行う。( 2. 2. 2 )
		1 配管材料等	1) マンホールふた ・ ボルトロック式 ・ メーカー標準ロック式 ( 2. 1. 27 ) 2) 管材や弁類は、図示による。( 2. 1. 30 )
		2 山留め	山留め壁 ・ 要 ( 図示による。 ) ・ 不要 ( 2. 2. 1 ( 9 ) )
		3 維持管理	工事引渡後 6 ヶ月間は受注者が維持管理を行い、7 条検査を受検し、その報告を行う。( 2. 2. 2 )
		1 配管材料等	1) マンホールふた ・ ボルトロック式 ・ メーカー標準ロック式 ( 2. 1. 27 ) 2) 管材や弁類は、図示による。( 2. 1. 30 )
		2 山留め	山留め壁 ・ 要 ( 図示による。 ) ・ 不要 ( 2. 2. 1 ( 9 ) )
		3 維持管理	工事引渡後 6 ヶ月間は受注者が維持管理を行い、7 条検査を受検し、その報告を行う。( 2. 2. 2 )
		1 配管材料等	1) マンホールふた ・ ボルトロック式 ・ メーカー標準ロック式 ( 2. 1. 27 ) 2) 管材や弁類は、図示による。( 2. 1. 30 )

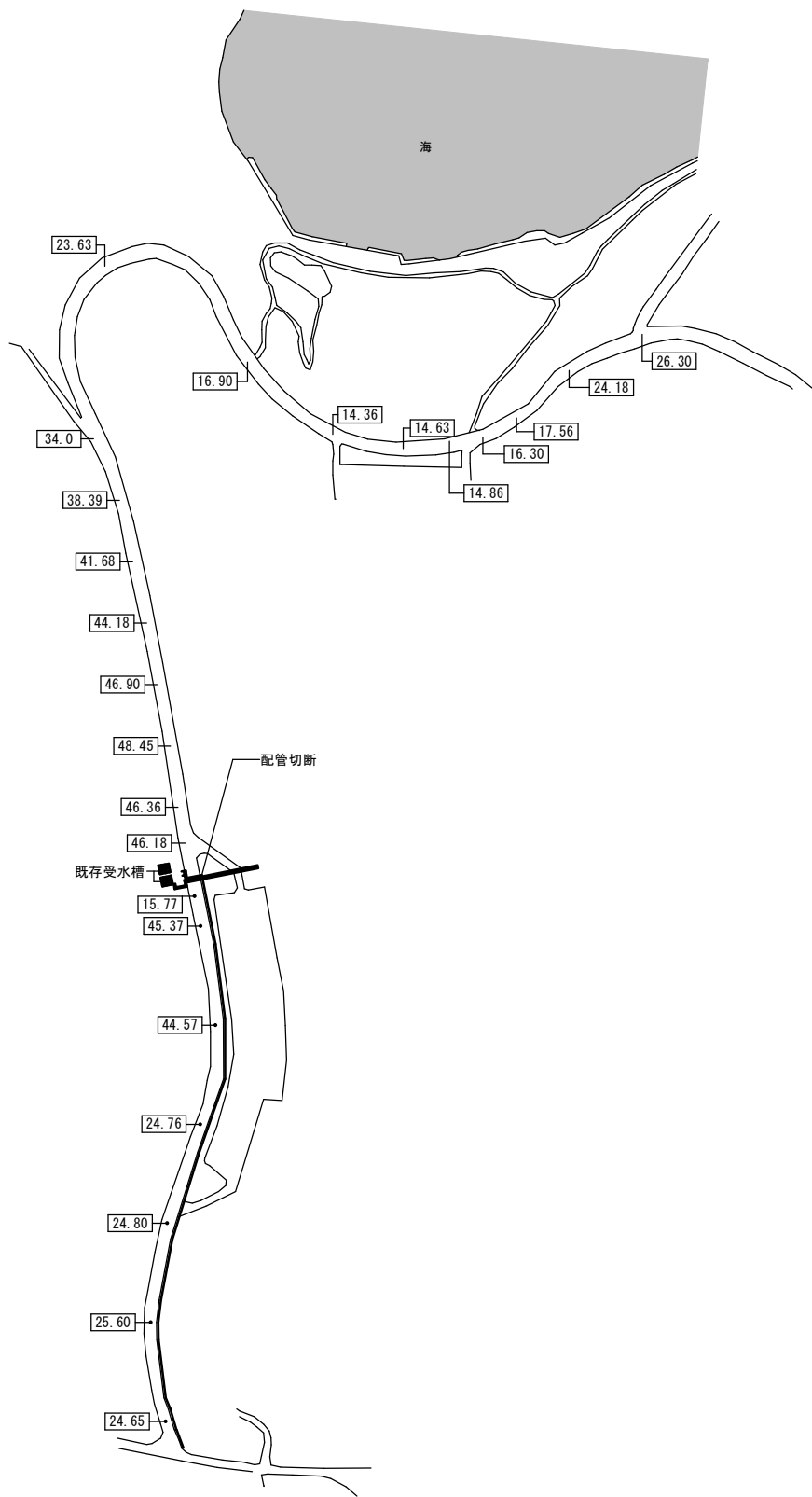
(別表ー 1) 他工事との取り合い							
工 事 内 容			機械	電気	建築	備 考	
開口部	はり、床、壁の貫通部（R C 造）	スリーブ、仮枠、穴埋共	●			S 造は建築	
		補 強 筋			●	建築図面に図示	
	天井、壁の切り込み	ボ ー ド 類 切 込 み	●				
		下 地 補 強			●		建築図面に図示
外部取付ガラリ（ダクト、チャンパの接続用フランジを含む）					●	建築図面に図示	
レンジフードファン、フード（取付枠共）及び流し台（排水トラップ共）							
洗面所、手洗所等の大型鏡、はめ込型洗面器用カウンター及び身障者用手すり							
下流し、足洗い場及び玄関の排水							
床、天井、壁の点検口及び床下水槽のマンホール蓋						建築図面に図示	
屋内外設備（受水槽、ポンプ等）の基礎						建築図面に図示	
屋上設備の基礎						建築図面に図示	
地下油タンク室等のコンクリート工事						建築図面に図示	
油サービスタンクの防油堤							
ボイラーの煙突及びボランポンベ庫（既製のものは機械）					●		
実験台（陶器製流し、化学水栓、ガス栓及びコンセント共付属品を含む）							
実験台への配管及び配管接続							
電気配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）		●			二次側	
	機器付属の制御盤への電源供給の配管配線			●		一次側	
	制御盤と動力盤間の電源供給及び操作回路の渡り配管配線			●			
機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線				●			

工事名	令和 7 年度のとじま水族館 能登半島地震災害復旧工事（上水道設備）	番号	M－ 0 2
図面名	工事仕様書（機械設備）	2 ／ 3	縮尺 _____
設 計	石川県県民ふれあい公社		

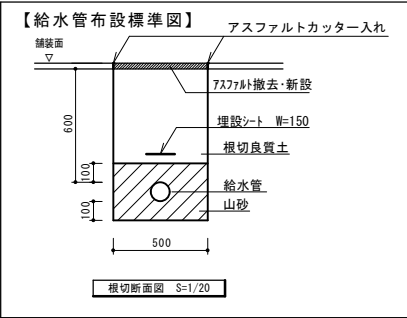
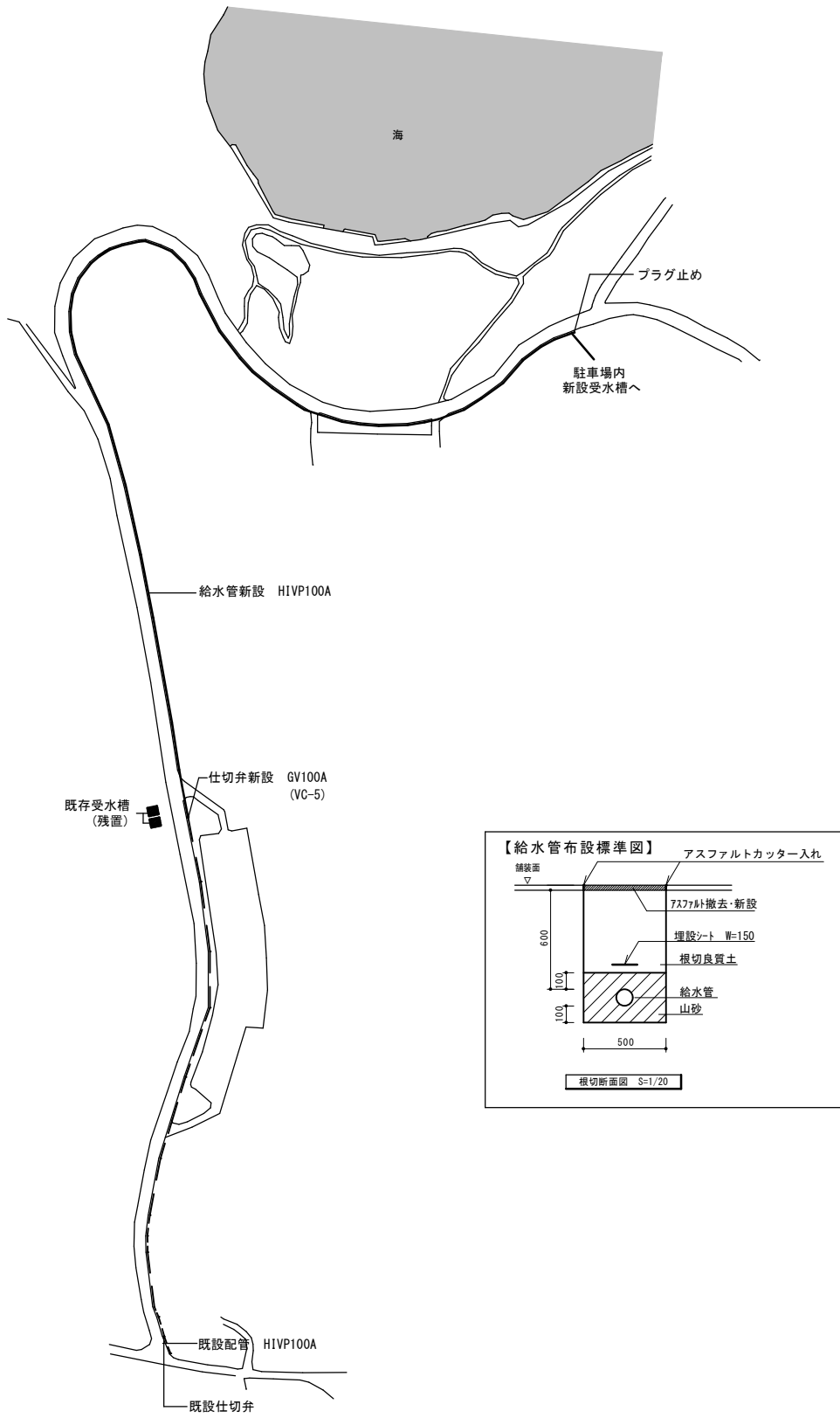
章	項 目	特 記 事 項
●  そ  の  他	1 いしかわ週休 2日工事	<p>1）適用</p> <p>工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。</p> <p>なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室ＨＰの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。</p> <p>※ 発注者指定型</p> <p>・ 施工者希望型（災害復旧工事の場合のみ）</p> <p>2）発注者指定型の内容</p> <p>（１）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。</p> <p>（２）受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を工事工程表（様式1を標準とする。）に記入し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（３）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（４）受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。</p> <p>（５）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。</p> <p>（６）当初設計において、週休2日（４週8休以上、現場閉所率28.5％（8日/28日）以上）を前提に補正係数1.05により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正している。</p> <p>（７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、４週8休に満たない場合は、（６）の補正分を減額する。</p> <p>なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。</p> <p>3）施工者希望型の内容</p> <p>（１）受注者は、現場着手までに、協議書（様式2）により週休2日工事の実施の有無を発注者と協議すること。協議の結果、週休2日工事を行わない場合は、以下の（２）から（８）は実施しない。</p> <p>（２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。</p> <p>（３）受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を工事工程表（様式1を標準とする。）に記入し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（５）受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。</p> <p>（６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。</p> <p>（７）当初設計において、週休2日を前提とした計上をしていない。</p> <p>（８）発注者は、週休2日（４週8休以上、現場閉所率28.5％（8日/28日）以上）の確保が確認できた場合、補正率1.05により労務費を補正し、請負代金額を変更する。</p> <p>なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。</p>
	2 余裕期間制度 試行工事	<p>1）適用</p> <p>・ 対象</p> <p>※ 対象外</p> <p>2）余裕期間制度対象工事の内容</p> <p>（１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。</p> <p>（２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。</p> <p>（３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。</p> <p>（４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。</p> <p>（５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。</p> <p>（６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。</p> <p>（７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。</p> <p>（８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。</p> <p>（９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。</p> <p>（１０）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。</p> <p>（着工日の期限） 契約締結日から起算して○ヶ月以内</p>

工事名	令和7年度のとじま水族館 能登半島地震災害復旧工事（上水道設備）	番号	M－03
図面名	工事仕様書（機械設備）	3／3	縮尺 _____
設 計	石川県県民ふれあい公社		

既存給水管布設図



改修後給水管布設図



分類	木下設備設計事務所 一級建築士事務所 石川県知事登録 第13199号 一級建築士登録 第297567号 森 亜希子	年 月 日 2025. 3. 31	縮 尺 A1:1/2000 A3:1/4000	検 図	設 計	製 図	工 事 名 称 のとじま水族館能登半島地震災害復旧工事 (上水道設備)	図 面 名 称 改修前・改修後給水管布設図	図番 M-04
				木下	森	森			

舗装面

アスファルト撤去・新設

埋設シート W=150

根切良質土

給水管

山砂

500

600

100

100

記号	
VC-P	
VC-Q	

Figure 1 is a cross-sectional diagram of the hinge pin assembly. It shows a vertical hinge pin (200VP) passing through a hinge pin bracket (VC-P) which is embedded in a concrete wall. The bracket is secured with mortar (モルタル). The pin is secured with a nut and washer. Dimensions are indicated: 20 for the bracket thickness and 100 for the wall thickness.

The map illustrates the layout of the aquarium, highlighting three primary circulation routes and the locations of various water circulation equipment (GV) and their interconnections (HIVP).

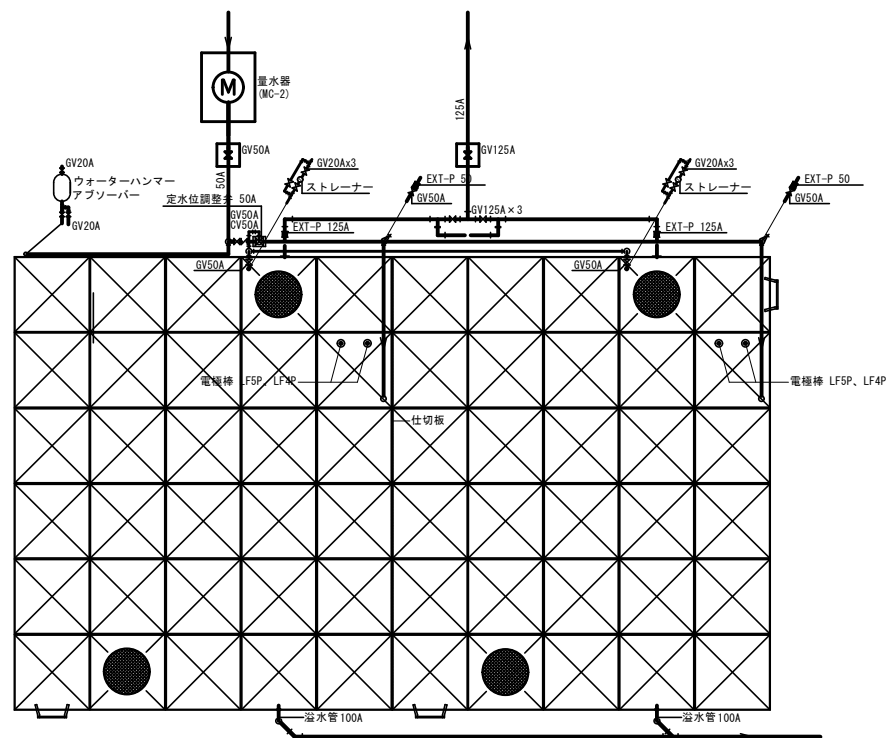
- ①本館ルート (Main Building Route):** This route starts at the bottom right, passing through the Aquarium Main Building (水族館本館), the Tunnel Tank (トンネル水槽), and the Sea of Life Natural History Museum (海の自然生態館). It includes several GV units (GV125A, GV32A, GV100A, GV25A) and their connections (HIVP125A, HIVP32A, HIVP25A).
- ②長屋ルート (Long House Route):** This route runs horizontally across the middle of the map, passing through the Penguin Pool (ペンギンプール), Lacco Museum (ラッコ館), and the Ilca Pool (イルカプール). It features multiple GV units (GV75A, GV40A, GV25A, GV32A) and their connections (HIVP75A, HIVP40A, HIVP25A, HIVP32A).
- ③バス駐車場ルート (Bus Parking Lot Route):** This route is located at the top of the map, near the bus parking lot (バス駐車場). It includes GV units (GV25A, GV32A) and their connections (HIVP25A, HIVP32A).

Other notable features on the map include the Restaurant (レストラン), Dining Hall (食堂), and various pools and tanks. The map also indicates the removal of existing equipment (e.g., 既存25A仕切弁撤去) and the installation of new equipment (e.g., GV25A新設 (VC-P)).

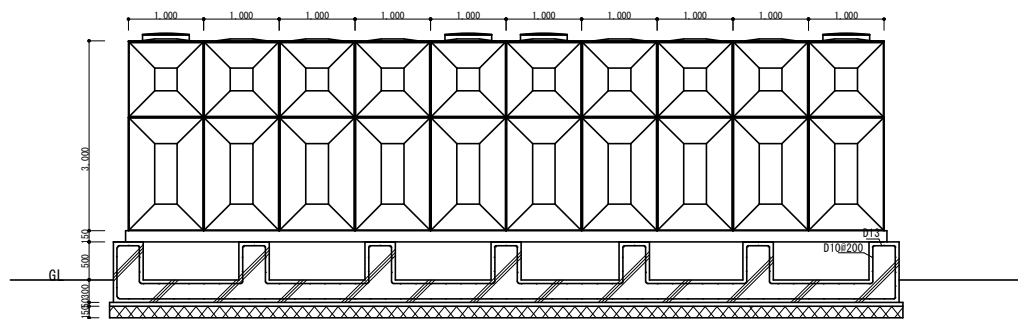
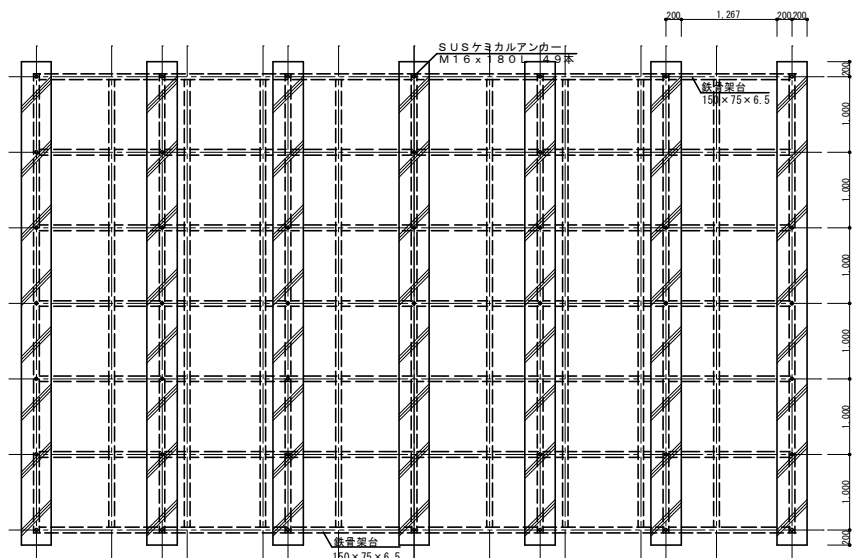
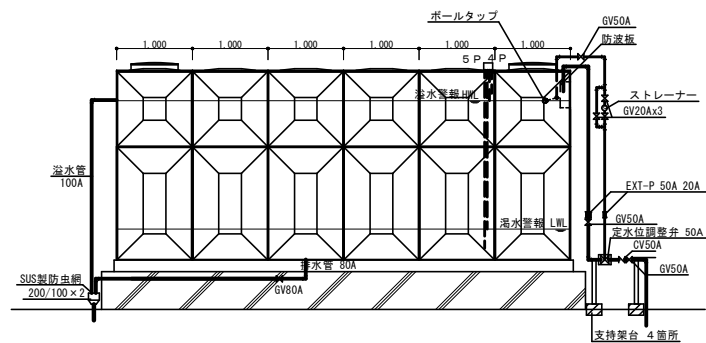
新設受水槽  
(詳細はM-07参照)







※受水槽は 130m<sup>3</sup> 中間間仕切壁付 SUS製 耐震型(1.5G)とする  
※内外はしごはSUS製とする



分類	木下設備設計事務所 一級建築士事務所 石川県知事登録 第13199号 一級建築士登録 第297567号 森 亜希子	年 月 日 2025. 3. 31	縮 尺 A1:1/50 A3:1/100	検 図	設 計	製 図	工 事 名 称 令和7年度のとじま水族館 能登半島地震災害復旧工事（上水道設備）	図 面 名 称 受水槽詳細図	図番 M-07
				木下	森	森			